

第27回 瀬戸内海研究フォーラム in 広島

瀬戸内海における持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた里水と里海の連携

趣旨

今年の研究フォーラムでは、瀬戸内海の「豊かさ・資源の保全」とともに「陸域環境保全」や「安全な水の確保」という持続可能な開発目標 (SDGs) を達成していくことを想定し、(1) 瀬戸内海の貧栄養化と流域圏管理について、(2) 藻場・干潟と流域圏について、(3) 「里水」との連携について、多様な専門家を交えて議論したいと思います。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」



安全な水の確保



海洋資源の保全



陸域生態環境保全



平和の推進



干潟 (尾道市瀬戸田町)



宮島 (廿日市市)



酒造用の井戸
(竹原市)



ため池
(尾道市瀬戸田町)

日時

令和元年 9月5日(木) 12:30~17:55
9月6日(金) 9:30~15:00

参加料

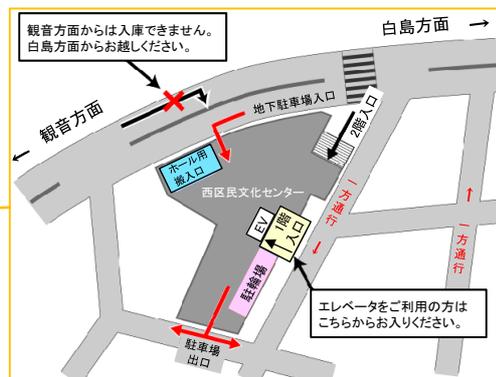
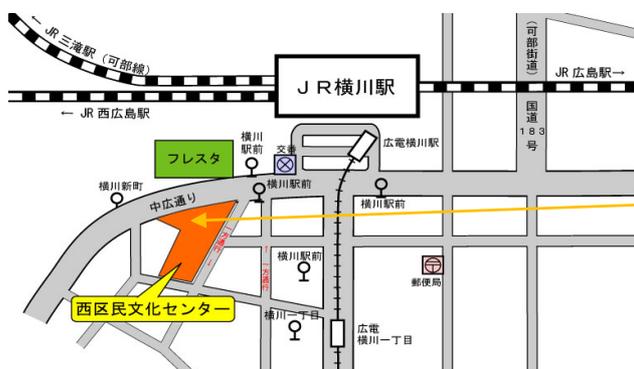
【フォーラム】無料
【懇親会】一般：4,500円、学生：2,000円

会場

広島市西区民文化センター ※JR横川駅 南口より 徒歩約5分
〒733-0013 広島市西区横川新町6-1

【フォーラム】本会場：ホール(2階)、ポスター掲示会場：ギャラリー(2階)

【懇親会】大会議室(3階)



お申込・問い合わせ先

(特非)瀬戸内海研究会議 事務局 (担当:橋本)
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター 東館5階
(公社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL:078-241-7720 / FAX:078-241-7730
E-mail: web@seto.or.jp
URL: http://www.seto.or.jp/kenkyu/

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議
協賛：広島大学大学院総合科学研究科、公益社団法人 中国電力技術研究財団、公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会
後援：環境省(予定)、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所、国土交通省中国地方整備局(予定)、広島県、広島市、広島大学、株式会社中国新聞社

プログラム

第27回 瀬戸内海研究フォーラム in 広島

9月5日(木) 12:30~17:55 (12:00 受付開始)	
開会	12:30~12:50
挨拶・祝辞	
趣旨説明	運営委員長 小野寺 真一 (広島大学大学院 総合科学研究科 教授)
第1セッション 12:55~14:55	
「瀬戸内海の貧栄養化と流域圏の管理」	
趣旨説明	コーディネーター 山本 民次 (広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授)
・ 流域モデル解析による瀬戸内海一級河川からの栄養塩負荷量の長期変動 清水 裕太 (農研機構 農業情報研究センター 研究員)	
・ 広島湾におけるカキ養殖を持続させるために～貧栄養状態に対抗するための採苗対策の取組み～ 相田 聡 (広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター センター長)	
・ 豊かで美しい瀬戸内海を目指して～兵庫県の取組み～ 菅 範昭 (兵庫県 農政環境部 環境管理局長)	
・ 貧栄養海域で漁業生産を向上させるための試みとその科学的評価 山本 民次 (広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授)	
総合討論	
統括	
ポスター発表セッション 15:05~17:55	
「瀬戸内海と周辺地域の文化・環境に関する研究・活動報告」	
コーディネーター 作野 裕司 (広島大学大学院 工学研究科 准教授)	
・ ポスターフラッシュ口頭発表(ホール) 15:05~16:15	
・ ポスター前説明(ギャラリー)	
<前半> 奇数番号ポスター	16:25~17:10
<後半> 偶数番号ポスター	17:10~17:55
※ポスター発表者一覧は下記URLに掲載しています https://www.seto.or.jp/kenkyu/forum/hiroshima	
※ポスターはフォーラム開催期間中、西区民文化センター 2階ギャラリーで展示しています	
特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議総会 18:05~18:30 ※研究会議会員のみ	
懇親会 18:40~20:00 西区民文化センター 3階 大会議室全室	
9月6日(金) 9:30~15:00 (9:00 受付開始)	
第2セッション 9:30~11:30	
「藻場・干潟と流域圏との関係」	
趣旨説明	コーディネーター 堀 正和 (水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 主任研究員)
・ 瀬戸内海の藻場・干潟の分布状況と沿岸域の保全・再生・創出 中野 哲哉 (環境省 閉鎖性海域対策室長)	
・ 藻場・干潟における栄養物質の収支 一見 和彦 (香川大学 瀬戸内圏研究センター 教授)	
・ 藻場・干潟生態系における海底湧水の重要性;瀬戸内海沿岸での研究結果からみえてきたこと 齋藤 光代 (岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授)	
・ 流域の土地利用変化と沿岸への栄養塩供給の関係～北海道東部における事例研究 井上 貴央 (北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 博士研究員)	
総合討論: 瀬戸内海の藻場・干潟の保全と持続的利用の両立に向けて 堀 正和 (水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 主任研究員)	
統括	
ポスター発表(ポスター前説明)※自由参加 11:30~12:30	
第3セッション 12:30~14:30	
「流域圏における里水と里海の連携(SATO NET)」	
趣旨説明	コーディネーター 小野寺 真一 (広島大学大学院 総合科学研究科 教授)
・ 流域圏における里水とその里海への役割 小野寺 真一 (広島大学大学院 総合科学研究科 教授)	
・ 中国地方での「森里川海プロジェクト」から「地域循環共生圏」への取り組み 原田 幸也 (中国四国地方環境事務所 広島事務所 所長)	
・ 岡山県吉井川流域における連携の取り組み 三雲 弘和 (一般社団法人 岡山県地域おこし協力隊ネットワーク 理事)	
・ 企業の取り組み—天然水奥大山ブナの森工場の例— 山本 亮 (サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 事務長)	
・ 瀬戸内海の環境に関する市民意識—環境認識・情報・市民活動— 浅野 敏久 (広島大学大学院 総合科学研究科 教授)	
総合討論	
統括	
総括・ポスター賞表彰式・閉会 14:30~15:00	

【参加申込書】 参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込ください。事前にお申込みいただいた方には参加証をお送りしますので、当日ご持参ください。なお、当日参加も可能です。

氏名 :	
所属 :	
連絡先 : (FAXによる申込みの場合のみ、FAX番号またはメールアドレスをご記入ください)	懇親会 : 参加 <input type="checkbox"/> 一般:4,500円 <input type="checkbox"/> 学生:2,000円 不参加 <input type="checkbox"/> (当日参加も可能です)

(申込先) E-mail: web@seto.or.jp / FAX:078-241-7730

(特非)瀬戸内海研究会議 事務局